

13議案中、12に賛成、5つに反対しました



日本共産党市議団が反対(不認定を含む)した議案

- ① 介護保険条例の一部改正、② 令和4年度一般会計及び各種特別会計の決算の認定、③ 令和4年度水道事業会計決算、④ 令和5年度介護保険特別会計補正予算、⑤ 教育委員会委員の任命



2022年度決算の反対討論(徳本)まとめ

- ・コロナ禍において特に忙しかった健康課の職員をふやしたこと
- ・ペイペイの還元事業予算の大幅増加への反省が語られたので、次に生かせる
- ・コロナ禍でも、国際交流のイベントを工夫して開いた
- ・外国人の方1100人以上に外国語のアンケートをしたのはすばらしい
- ・市長が広島市の平和首長会議に出席して平和事業を自ら行ったこと
- ・経済的に苦しい家庭の子が塾へ通うための支援事業は効果があった
- ・情報発信をする「しろいまっち」が、目標を大きく超えて利用された
- ・預貯金システムの活用で税収を大幅にふやせたこと
- ・「くらしと仕事のサポートセンター」は関係機関とも連携して市民を支援、など

よかった点

生活保護は生きる権利を守る制度！
理解され申請しやすくなるよう、印西市のよう
に各施設にしおりをおいて！



市の宝物の「桜台中の
自校式給食」廃止や「文化センター4施設」の安易な縮小・廃止
ほんとうにいいの？

問題点
反対理由



市は現在、市民に知らせず文化センターの今後を検討中
市民に広く意見をきく場や幅広いアンケートを！

「市長への手紙」はこちらへ→



主に要望したこと

- ・水質調査で安全基準をこえた地域のPFAS(有機フッ素化合物)調査と対策を
- ・多額の税を免除する「企業立地奨励金」廃止
- ・交通安全設備の予算をふやして
- ・給食費無償化を広げ、給食費値上げ中止を→値上げ分は市が負担することになりました
- ・学校で子ども達への日本語指導員ふやして
- ・梨のブランド化事業は委託せず、市で行って

自校式給食廃止を提案した「給食あり方検討会」

自校式給食は、そのために引っ越す人もいて(人口増加に貢献)、食べ残しが少ない食育のお手本。災害時の炊き出しも可能です。「桜台中の給食あり方検討委員会」は、市民が提案した費用の節約にもなる親子式給食を検討させず、誘導的なアンケートを行い、「自校式給食廃止」の意見書を出しました。

全面縮小を提案「文化センターあり方検討委員会」

「文化センターのあり方検討委員会」の予算は2千万円以上。市民や4施設の運営委員会の「施設の維持」の意見を軽視し、パブリックコメントもせず、図書館・大中ホール・郷土資料館・プラネタリウムの全面的な縮小(廃止も)の意見書を出しました。

2つとも、委員長の進行や議論、意見書に重大な問題があり、市が求める結論ありきと思えました。これを予測し、共産党市議団は検討会の設立自体に反対しました。教育委員会委員もチェック機能を果たしてくれず、本当に残念です。

その他の反対理由

パートナーシップ・ファミリーシップ制度づくりを進めていない／マイナンバーカードのよい点のみ宣伝して登録を促進／ナッシュ一号の日曜・祝日の運行を行わなかった／支援が必要な子どもにつく保育士不足／教育相談員の不足／外国語を母国語にもつ子20人への日本語指導員6人は少ない、など

※この議会報告は、多くの方が読めるよう仮名をふっています ご相談や市政へのご要望など、お気軽にご連絡下さい

〈発行〉2023年11月 徳本 光香 090-6316-7204 白井市清水口 2-4-13-406
根本あつ子 080-5005-4805 白井市富士 154-16